



2026年3月1日発行
(毎月1日発行)
1984年8月15日第3種郵便物認可
発行所 / (公財)熊本YMCA
〒860-8739
熊本市中央区段山本町4-1
Tel 096-353-6397(代)

未来へつなぐ卒業発表 熊本YMCA学院

専修学校熊本YMCA学院には、建築科、ホテル観光科、医療秘書科、健康スポーツ科、こども保育科の5つの学科があり、それぞれの学科で様々な取り組みをしています。2年生が行った卒業発表について、3つの学科をピックアップして紹介します。



ホテル観光科

観光とおもてなしの実践発表

古庄 凜

2025年12月18日(木)にホテル熊本テルサで卒業制作発表を行いました。テーマは、「Welcome to Kumamoto ～新発見ツアー～」です。3グループに分かれ、県内の観光地や飲食店を巡り、地元の方と関わりながら一から観光マップを制作しました。また、先生方や1年生へ料理のサービスも行いました。

私は人前に出て指示を出すのが苦手ですが、今回の卒業制作で副リーダーを務めました。準備当初は話し合いが思うように進まないことが多くありま

したがリーダーの神代さんと一緒に、全員が前向きに取り組める方法を考え、協力を促しながらそれぞれに合ったやり方を意識して行動しました。その結果、各グループらしさがでたオリジナルマップを完成させ、発表することができました。

先生たちに「この2年間ですごく成長したね」と褒められたことがとてもうれしく、努力を重ねていればその姿をちゃんと見てくれている人が必ずいることを実感しました。私も小さなことでも気づいて声をかけられる人になりたいです。

来年度、私はサービス業に就職します。今まで学んできたことを発揮し、精一杯努力していきます。



建築科

地域に根差した建築を目指して

坂本 康輔

1月31日(土)に卒業制作発表会を行いました。模型のゼミでは、実在する建築物をもとにその図面を得て、模型作りをすることはもちろんのこと、その構造や立地、設計者等、またその社会的背景を知り、地域に根差した建築物として捉え、探求していました。インテリアの班は、板段ボールを用いて椅子を設計作成しました。強度を持たせつつ、大人から子どもまで対象者に合わせた素敵なインテリアが出来上がりました。設計班は、既存の土地区画を想定し、アイデアを出し建築物

を提案しました。発表直前まで、手直しを加えるなど、緊張感を持ち発表することができました。

YMCA学院での学びを通して、私は、自ら創り出すことの面白さを知りました。最初に自分で考えたものはまだまだ稚拙でしたが、指導をいただいたおかげで形になり、地域に根差したスタジアムを提案することができました。私は、卒業後、熊本の建設会社で働きます。YMCA学院で身につけた技術で、地域の創造に貢献できる技術者になりたいです。

卒業制作の作品は、熊本市市民会館(シアーズホーム夢ホール)に3月5日から3月9日まで展示します。ぜひ見に来ていただけたらうれしいです。



こども保育科

心をひとつに届けるステージ

丸山 美咲

2月12日(木)にYMCA阿蘇キャンプ、20日(金)に熊本市こども文化会館で卒業発表会を行いました。劇やリズム遊び、合奏の発表など、子どもたちに楽しんでもらえる内容を考え、2年間の学びの集大成となる発表会を目指しました。

準備を進める中で、意見が割れてみんなで言い合いになることもありました。それぞれに考えがあり、大変だと感じることもありましたが、決まり事が決まった瞬間や、円になって話し合う中でみんなのやる気が見えた時は、このクラスで準備できてよかったと感じました。

阿蘇キャンプではYMCAの保育園に通う園児の前に発表しました。練習ではなかなか笑顔が出せなかった私たちも、子どもの前に立つと自然と笑顔になれました。

入学当初は自分のことしか見えていなかった私ですが、今では話し合いを重ねる中で周りに目を向けることが増え、感謝の気持ちを持てるようになりました。卒業後は福岡の保育園に就職します。私は母に頼りすぎることがあるので家族のいない環境で一人で頑張りたいと思い、決意しました。子どもたちの一人ひとりの変化に気づくことができ、笑顔で頼れる保育士を目指します。



I n f o r m a t i o n

熊本バンド 結盟150周年記念行事



熊本洋学校で教師ジェーンズの薫陶を受け、花岡山でキリスト教を奉じこの教えを日本全国に宣布しようと結盟し、その後「熊本バンド」と呼ばれた青年たち。日本におけるキリスト教プロテスタントの源流の一つとなった「熊本バンド」の結盟150周年を記念して、特別講演会を開催します。

日 3月20日(祝・金) 14:00~19:00

内 第1部 講演会(14:00~16:30)

第2部 茶話会(17:00~19:00)

場 熊本草葉町教会(熊本市中央区草葉町1-15)

講演者 小崎真さん、岩井善太さん

費 講演会 無料、茶話会 2,000円

催 熊本バンド結盟150周年記念行事実行委員会

共催 学校法人同志社

問 実行委員会事務局(熊本YMCA) Tel 096-353-6397



YMCAフィランソロピー協会 第31回みんなのボランティア入門講座



企業と企業人の社会貢献を推進するYMCAフィランソロピー協会が毎年行っている本プログラムは、複数の企業の企業人が一堂に会して学びを深める、合同研修です。参加者が食事介助体験や車椅子体験・講習を通して、相手の立場に立った考え方を学びます。

日 4月2日(木)・3日(金) 12:00~15:00 ※両日とも同一内容です。

場 熊本YMCA本館/グローバルコミュニティセンター(熊本市中央区段山本町4-1)

催 YMCAフィランソロピー協会

内 食事介助体験、車椅子講習・体験

対 新入社員、入社2・3年目の社員や中堅社員、管理職の社員など

費 協会会員企業2,500円

非会員企業3,000円

問 YMCAフィランソロピー協会

事務局 Tel 096-353-6397



富士山の雄大な自然と名峰の記憶を訪ねる旅



富士山の自然の奥深さは登山だけではなく、裾野には深く美しい森、湧水、巨樹、洞窟など、雄大な自然が息づいています。この春、桜の美しい山麓を訪れ、経験豊富なガイド陣、YMCA東山荘ネイチャープログラムスタッフと共に、自然散策と富士山周遊の旅に出かけましょう。



日 4月2日(木)~4月5日(日) 3泊4日(熊本駅集合・解散) 場 静岡県御殿場市(宿泊:YMCA東山荘)

対 小学生~大人(※子どものみ参加の場合は小学3年生以上)

費 中学生以上:115,000円(税込) 小学生:105,000円(税込)

問 YMCAトラベル Tel 096-382-6111/営業時間:9:00~18:00(平日) 担当:堤

定 15名程度(最少催行人数 10名) 締 3月20日(祝・金)

申込みはWeb▶



熊本市子育て 支援優良企業に 認定されました



公益財団法人熊本YMCAおよび学校法人熊本YMCA学園は、2025年度「熊本市子育て支援優良企業」の認定を受けました。本制度は、子育て世帯等が安心して子育てと仕事を両立できる働きやすい職場環境の整備を進める企業を対象とするものであり、今回の認定はこれまでの継続的な取り組みが評価されたものです。

日 日時 場 会場 内 内容 費 参加費 定 定員 条 参加条件 持 持ち物 対 対象 催 主催 締 締切 申 申込 問 問合せ 他 その他

熊本YMCA 総主事
伊藤真太郎

マナ Vol.10

使命があるからこそ

年度の終わりが近づくと、自然と自分たちの歩みを振り返る時間が与えられます。私たちはどこへ向かい歩んでいるのか。誰と共に歩んでいるのか。その問いは、日常の中で見えにくくなった足元を、もう一度照らしてくれます。

熊本YMCAではこの一年、使命について「対話」を重ねてきました。方針としてではなく、言葉として共有し、現場の中で確かめ合う歩みでした。その中で見えてきたのは、使命は掲げて終わるものではなく、日々の選び方に表れるものだという事です。

熊本YMCAは、熊本バンドの精神をうけつぎ、イエス・キリストの愛と奉仕のわざに励み、すべての人がひとつとなるための働きを続けてきました。その使命は、「共に生きる社会」から「平和な世界」へとつながっています。

先日の全体職員研修会で、十字架の場面の聖書の言葉が紹介されました。「他人は救ったのに、自分は救えない」と語られた箇所です(マルコによる福音書15章25節~32節)。力を示せと言われても、その場を離れなかった姿は、上から救うのではなく、同じ苦しみの場に身を置き、共にあるという在り方を示しているように思います。YMCAは、弱い立場に置かれている方、声を上げにくい方と共に歩むことを大切にしてきました。だからこそ、すぐに何かをする前に、

まず隣に行き、そっと寄り添い、共にいることを大事にしたいと思います。何かを語る前に、ただそこにいる。その関係からはじめて、はじめて共に歩むことができるのだと思います。

YMCAが取り組んでいるピンクシャツデーも、その姿勢の延長にあります。いじめを見逃さないこと。傷つく人を孤立させないこと。それは、「あなたと共にいる」という心の姿勢です。共に歩みはじめたなら、そこで終わりではありません。想い続け、願い続け、祈り続け、歩み続ける。その積み重ねこそが使命の実践であり、使命を掲げる者の責任なのだと思います。

だから私たちは、大きなことはできないからこそ、なお祈り、感謝しつつ選び続けます。

「ために」ではなく、「共に」。

R | E | P | O | R | T

国際

英語で過ごす3日間 全国から中高生が参加



むさしグローバルコミュニティセンター
出口夏実

2025年12月26日(金)～28日(日)まで、全国の中学生・高校生が参加するEnglish Camp for Global Leadership (ECGL)に熊本から6名が参加しました。ECGLは英語でのコミュニケーションの楽しさを知り、積極的にグローバルな課題に目を向け、自ら考え行動できる地球市民を育成することを目指すプログラムです。最終日の個人スピーチ発表とグループプレゼンテーションに向けて準備します。

グループプレゼンテーションでは、教育・環境問題・AI・平和の4つを課題に取り上げ、全国の参加者とともにグループに分かれ、発表に向けて準備を行いました。お互いに協力し合いながら構成を考えたり、意見を出し合ったり、文法の確認をする姿が見られました。

最終日は、各グループとも素晴らしいプレゼンテーションを発表しました。並行して準備していた個人スピーチも、堂々と発表する姿に成長を感じました。このプログラムを英語を学ぶ多くの中高生に広めていきたいと思いました。



キリスト教

熊本バンド結盟150周年 記念行事を開催



熊本YMCA学院 須藤史朗

明治時代に熊本洋学校でアメリカ人教師ジェーンズの薫陶を受け、花岡山で信仰を告白し全国伝道を志して結盟した青年たち「熊本バンド」。その結盟150周年を記念する早天祈祷会が1月30日(金)、花岡山山頂の熊本バンド奉教之碑前で開催されました。

熊本YMCAが事務局を務める実行委員会主催のもと、寒さ厳しい早朝にもかかわらず、同志社関係者や県内各地の教会関係者、学生ら約260人が午

前6時半に集い、讃美歌と祈禱をもって礼拝が始められました。聖歌隊による賛美、奉教趣意書とその口語訳の朗読、聖書朗読が続き、厳かな雰囲気の中で祈りがささげられました。

奨励では学校法人同志社の総長・理事長の八田英二さんが「同志社揺籃期と熊本バンド」と題して語り、歴代総長に熊本バンド出身者が連なってきた歴史や、同志社と熊本バンドの深い信仰的つながりを紹介しました。参加者は先人の志と信仰を受け継ぎ、教会と社会に仕える歩みを新たにすることができました。



国際交流

台湾 彰化YMCA ボランティアツーリズム受け入れ



YMCATravel 堤雄一郎

1月26日(月)～31日(土)にかけて、台湾の彰化YMCAより学生5名とスタッフ2名の一行を迎え、ボランティアツアーを実施しました。本プログラムは2016年の熊本地震以降、復興ボランティアツアーとして継続しているものです。

YMCA阿蘇キャンプを拠点に、滞在前半の農業体験では、厳しい寒さの中でビニールハウスの撤去や建築作業を行い、冬の農業の現実にふれました。4日目にはYMCA赤水保育園を訪問し、園児たちによ

る「赤水太鼓」の演奏で熱烈な歓迎を受けました。歌やダンス、台湾文化の紹介や英語を通じた交流を行い、世代や国境を越えた温かな絆を育みました。5日目は熊本市内へ移動し、熊本県立大学の学生との交流会も行われました。

農作業ボランティアや文化交流など、全ての行程を終えた一行の表情には、冬の厳しい寒さを共に乗り越えた自信と、復興への願いを共有した温かな充足感が満ちていました。混迷を極める世界情勢ですが、こうした草の根の交流が、互いを思いやる平和な未来を築く礎になると確信しています。



交流

すべての人が輝ける職場づくりを目指して 交流会を実施



YMCAフィランソロピー協会 幹事長
熊本トヨタ自動車株式会社 鎌田公二

企業と企業人の社会貢献活動を推進するYMCAフィランソロピー協会が2月4日(水)、熊本YMCA本館/グローバルコミュニティセンターを会場に「すべての人が輝ける職場づくり交流会」を実施しました。海外企業の進出もあり、企業を取り巻く環境が大きく変化する中、外国籍人材と企業の相互理解を深めることが目的で、協会会員企業や留学生、一般参加者など29名の参加がありました。

会では、はじめに外国籍人材、企業・団体、教育機関の三方の立場から4名が現状や想い、今後の希望についてトークセッションを行いました。その後に行ったグループディスカッションでは、4つのグループに分かれて参加者それぞれの立場での想いや考え、将来について共有し、交流を深めました。

参加者した留学生からは、「いろいろな産業や職場の方と交流できてよかった」、企業人からは「将来日本で働くことを希望する学生に出会えることは、企業にとっても有意義である」などの感想が寄せられました。



YMCA年末募金

こども

若者

国際協力

2025年11月

▶2026年1月末まで

たくさんのご協力ありがとうございました。
皆さまからの募金は、様々な活動に用いられます。



募金の使途

(2026年2月21日時点)

災害支援
50,000円

健康・福祉
10,000円

諸団体支援
360,000円

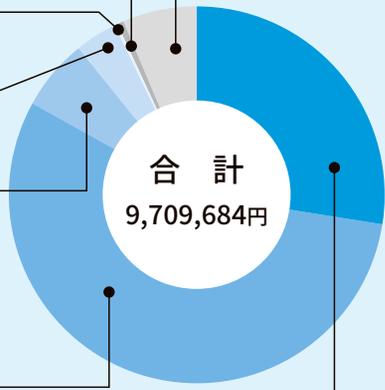
国際協力・交流活動
600,000円

若者の支援(ボランティアリーダー育成及び派遣、YMCA学院奨学金・学生支援、YMCA学院留学生奨学金・日本語学校留学生支援、熊本YMCAリーダー会支援、人材育成等)
5,389,684円

子どもたちの支援(BAPY基金(YMCAプログラムの参加費減免)・福祉キャンプ・地域活動など)
2,700,000円

推進事務費
(事務局経費・募金振込手数料含む)
600,000円

合計
9,709,684円



年末募金 ご協力者の声



株式会社吉永産業
代表取締役社長 吉永隆夫さん

私は社員に「美しい心でありなさい」と伝えています。一流の仕事人は一流の心を持っていないわけにはいきません。相手のこころを満足させることができこそ、一流の技術者だと思っています。

そのような考えもあり、少しでも社会に協力したいという想いで、毎年、YMCAの年末募金に協力しています。募金は経済的な課題を持つ熊本YMCA学院の学生支援にも使われているそうですね。私は教育が何より大切だと思っており、YMCAの取り組みに共感しています。

当社には多くのYMCA学院建築科の卒業生が在籍しています。「学費が払えないから学校にいけない」という若者をつくらないように、この募金が役立ってほしいと願っています。

寄付者御芳名

募金にご協力いただいた皆様をWebサイトでご紹介しています。



わたしのYMCAストーリー

あの頃は気づかなかったYMCAの時間

熊本YMCA常議員会議長

みなみグローバルコミュニティセンター運営委員
麻生尚哉



私がYMCAに通い始めたのは、幼少期に参加した水泳教室がきっかけでした。体操競技経験者の父の勧めで体操教室にも通うようになりましたが、正直なところ、当時は特別な意味を考えていたわけではありません。ただ目の前の練習に取り組み、体を動かす時間を楽しく過ごしていました。その後、高校・大学へは、YMCAで出会った体操競技という特技を活かして進学することができました。

いま振り返ってみると、人見知りで内気な私にとって、スポーツを通して目標を達成する経験や、年齢の異なる仲間と同じ時間を共有することは、他者と交わることの楽しさや大切さを自然と教えてくれたように思います。

YMCAで過ごした時間が、いまの自分を形づくる大切な土台になっていると感じています。今後も多くの方が、YMCAでそれぞれの価値を見つけていかれることを願っています。

※このコラムではYMCAに関わる皆さんに「みつかる。つながる。よくなっていく。」「ポジティブネットのある豊かな社会」をテーマに寄稿をいただきます。

ワイズメンズクラブリレーコラム

チャレンジする勇気

阿蘇ワイズメンズクラブ 会長 松村浩市

阿蘇クラブは2007年9月1日にチャーターして19年になります。今まで多くの方が入会され、そして退会された方もおられます。毎回メンバー増員を目指していますが思い通りにならない現状が続いています。

昨年8月にアジア大会が熊本で行われ、それと同時にアジア太平洋地域ユースコンボケーションも行われ、YMCA阿蘇キャンプに多くの海外からの若者が来られました。その際に皆さんが気兼ねなく自由に会話をしているのを見て、臆せずには話しかける勇気が必要と思いました。

勇気は必要ないと思っている方もいるかもしれませんが、年を取るとなかなか思い通りにはならないものです。

2026年年頭の目標は、来年、阿蘇クラブ20周年に向けて、いろんな人と話してワイズを知ってもらい、そしてワイズに興味を持ち入会に繋がればと思います。

昨年より親クラブの熊本ひがしクラブや熊本にしクラブと合同例会や活動を協力して行っており、少しでも多くの方との出会いを通じてワイズ活動を広めていきたいと思っています。

※ワイズメンズクラブ国際協会は、YMCAをサポートする世界的な奉仕団体です。

発行所／(公財)熊本YMCA
〒860-8739 熊本市中央区段山本町4-1
TEL 096-353-6397(代)

発行人／伊藤 真太郎 編集／熊本YMCA ICR
定価60円 購読料は会費を含む

www.kumamoto-ymca.or.jp



公式LINE

熊本YMCAの使命

共に生きる社会 生涯学習の推進 ボランティア活動
地球環境の保全 ウエルネス活動 平和な世界

2025年度基本聖句

何事も愛をもって行いなさい
コリントの信徒への手紙一 16章14節